

「第10回 shiseido art egg」賞 受賞者決定のお知らせ

資生堂ギャラリーでは毎年、新進アーティストにギャラリーの門戸を広く開く公募制のプログラム shiseido art egg (シセイドウ アートエッグ)を開催しています。10回目となる2016年度は、370件の公募の中から選ばれた、川久保ジョイ氏、GABOMI.氏、七瀬綾乃氏が2月から4月にかけて順番に個展を開催しました。

その中で、資生堂ギャラリーの空間に果敢に挑み、新しい価値の創造を最も感じさせた作品に贈る「shiseido art egg賞」には、木彫作品を制作した七瀬綾乃(ななからげあやの)氏が選出され、2016年5月9日(月)に授賞式が実施されました。

受賞理由

個々の作品が独自性にあふれる不思議な魅力を持ち、高い完成度と存在感の大きさが感じられる展示でした。作家が作品に向かう静かで張りつめた時間を想起させ、美術の本質につながる作品の強さと作家の確かな力量を感じさせるところが、受賞の決め手となりました。

※今年度の審査員: 石川直樹(いしかわなおき: 写真家)、小沢剛(おざわつよし: 美術家)、藤野可織(ふじのかおり: 小説家)の3氏

七瀬綾乃展 rainbows edge(木彫)について

- 会期: 2016年3月30日(水)～4月22日(金)
- 会場: 資生堂ギャラリー(東京都中央区銀座8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下1階)
- 展示概要: 本展で七瀬氏は、枯れ行く植物をモチーフにした木彫作品とドローイングを通じて、植物に変化をもたらす「自然の時間」に目を向けました。同氏の作品は、自然物をモチーフとしながらも、生き物のようにも見え、静けさの中に複雑さや不気味さを内包しています。また、布を覆った作品の目に見えない部分は、見る者の想像力を喚起します。本展では、資生堂ギャラリーを陽の光の届かない洞窟に見立て、普段見過ごしがちな物に遭遇する空間を作りました。まだ乾燥しきっていない新作の木彫作品から木の香りが漂う展覧会となりました。



七瀬綾乃展 rainbows edge
©Ken.Kato



rainbows edge
2015
樟
114 × 70 × 40 cm
©Ken.Kato

受賞者コメント

初めての本格的な個展でshiseido art egg賞を受賞して、勇気をいただき自分の作品に自信を持つことができました。入選者の川久保ジョイさん、GABOMI.さんからは作品に対する思いや世界をどう見ているか、刺激を受け、自分の視野の幅を知ることができました。今後は、自分の技術や視点を洗練させ、揺るぎないものにしていきたいと思います。

七瀬綾乃氏プロフィール

- ・1987 鹿児島生まれ
- ・2011 広島市立大学大学院芸術学研究科博士前期課程修了
- ・現在、広島市立大学芸術学部彫刻専攻助教



七瀬綾乃氏
©Ken.Kato

ご参考: shiseido art egg展、他の展示概要

■川久保ジョイ展 Fall <インスタレーション>

- ・会期: 2016年2月3日(水)~2月26日(金)
- ・展示概要: 銀座という場の歴史を参照しつつ、ギリシャ神話を題材として現代社会のあり様に迫った、写真や映像、壁を研磨したグラフィック、香りなどによる作品を展示。
- ・川久保ジョイ:
1979 スペイン(トレド)生まれ
2005 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程中退



川久保ジョイ展 Fall
©Ken.Kato

■/in/visible_GABOMI.展 <写真>

- ・会期: 2016年3月2日(水)~3月25日(金)
- ・展示概要: レンズの代わりに自らの手で露光調整を行う独自の手法「TELENS(手レンズ)」やレンズを外して完全にアウトフォーカスで撮影した「NOLENS(ノーレンズ)」作品など、抽象作品を中心に展示した写真展。
- ・GABOMI.:
1978 高知生まれ
2008 独学で写真を開始



/in/visible_GABOMI.展
©Ken.Kato

本件に関するお問い合わせ先

株式会社資生堂 企業文化部

担当 : 服部 mari.hattori@to.shiseido.co.jp

tel. 03-3575-5431 fax. 03-3575-5429